

第 21 回 焼津市自治基本条例を考える市民会議・記録

平成 25 年 5 月 19 日 (日) 13:00～16:00

(焼津市役所 603 会議室)

1. はじめに

○開会あいさつ

事務局：先日、市民会議の皆様のおかげでできた「素案」について、議会基本条例を検討している特別委員会で説明し、5/21 の全員協議会で 21 名の全議員に「素案」の説明をさせていただく。若干質問もあるかもしれないが、非常にわかりやすく書かれているので、言わんとすることは伝わると思う。

- ・役所でも策定委員会があり、新しい副市長が委員長となった。幹部職員、作業部会など皆を集めて説明を行った。「このまま条例になるか」など心配の声もあるが、「意見があればどんどん出して欲しい」と言っている。そういうことも市民の皆さんとのキャッチボールが必要と思うので、今後、事務局を通して意見や質問を伝えることになるかもしれない。
- ・議員の皆さんも議会基本条例をつくっているのだから、その中身と自治基本条例が同じ文言が入っているのはどうかという話もあり、調整が必要になるかもしれないが、協調してやっていこうという雰囲気はある。どこかの機会に議会の特別委員会と市民会議で話ができる機会がとれればと話をしている。どういう形になるか分からないが、いずれセットしたいと思う。
- ・皆さん大変な思いをしてやっていただいているが、役所としては順調にやってきているという印象。当初は 1 年半ということが 3 年になったが、市長が替わってもそのままのスケジュールでいこうということで、総論的にはうまくいっている。今後、地域に入って PI 活動をやっていただくが、事務局でしっかりとバックアップさせていただきたい。

○今後の進め方、前回の振り返り、今回の進め方

事務局：前回確認した「素案」は、解説を追加した資料「LOVE 焼津～つづやきを形に 思いをしくみに～ 焼津市自治基本条例 焼津市自治基本条例を考える市民会議 素案 (平成 25 年 4 月)」になっている。今日は内容について細かい説明はしないが、必要があれば随時、改訂していく予定。

- ・前は PI 活動の進め方について 4 つの班で検討した。各班から選出された PI 活動推進委員にその後 2 回集まっていたが、今日の解説付き素案と PI で使用するパワーポイントの資料などを検討していただいた。
- ・今回は、PI 活動推進委員にシミュレーションをしていただき、それを見た上で各班の話し合い、各班の本番を想定したシミュレーションという内容で進めたい。
- ・今後、調整という面でいろいろと大変になってくると思うので、皆さんと一緒に乗り切っていきたい。

今井：今日は実際に本番の PI を想定して、まずは身内でやってみようということをしたい。こういうことは場数を踏むことが一番だと思うので、そのような進め方としたい。

2. PI 活動推進会議の報告

PI 活動推進委員：PI 活動推進会議を 2 回行った。PI 活動を実施する上では、どうやって人を集めるかということが一番ネックになるだろうということで、自治会を通じて色々な方に声をかけても、それ以外の活動をしている地域の方へのアプローチができていない。PTA や子供会やさわやかクラブ、青少年部等々の方々にどうやって出席していただくかについて色

んな意見が出た。

- ・商工会議所にも話をしたいという話や、スポーツ団体にも来ていただきたいとも考えたが、実際どうやるかというところ難しいところもある。
- ・今度の PI 活動は、開始予定時期までの期間も実施する期間も短いので、事務局にも尽力していただき、自治会長の役員会や議会の全員協議会で話ができることになったのは助かった。各地域の人集めのために、すぐにでも動ける状態になっている。
- ・皆さんには、あらゆる人にこうした活動についての宣伝をしていただきたい。色んな層の方が出てきていただけるよう PI の PR をしていきましょう。

事務局：各地区の自治会長が集まる会議の日程に間に合わないということであれば、別に動いていただくという形になると思う。自治会以外に参加を呼びかける相手先としては、PTA や校区子供会は学校を通じて。NPO は市民協働課を通じて。消防団は危機管理課に情報提供。商工会議所は関係する委員さんを通じて。

- ・プログラムの構成案は、①あいさつ、②必要があればアイスブレイク的な質問、③説明は取り組み経過と素案の説明で 40～50 分程度かかると想定。全体を 90～120 分と想定しているが、④意見交換では、ただ意見を求めても出にくいかもしれないので「旗上げアンケート」の活用も PI 推進会議で検討した。質問しやすい雰囲気をつくりながら意見交換ができればと考えている。
- ・配付資料は、「素案」（後でじっくり読んでいただく）、「スライド資料」。
- ・事務局も各回、同行し、機材や資料などは持っていく。チラシ案は配付資料の通り。ポスターが欲しいとのご意見もあったが、今後検討したい。

3. PI 推進会議メンバーによる『意見交換会』の進め方シミュレーション

(4 名の PI 活動推進委員より第二期 PI 活動の「意見交換会」のシミュレーションを実施)

1. あいさつ
2. 市民会議の活動経過の報告
3. 「市民会議 素案」の説明
4. 今後の予定など →ここまでで約 45 分
- (5. 質疑応答、旗上げアンケート)

4. チームに分かれて第二期 PI 活動の具体的進め方について話し合い

今井：今のシミュレーションを参考に、各班で実際の状況をリアルに想定して自分達の班ではどう進めるかを検討していただき、2 カ所に分かれて一度練習し、最後に、今日考えたことなどを全体で共有したい。

- ・具体的には、①各メンバーの役割分担、②資料の活用（報告含む）の仕方、③各班の独自の工夫、④その他、を書き残しながら話し合ってください。

(各グループ話し合い)

5. もう 1 回シミュレーション

(4 つの班で話し合い、その後、2 カ所で各班のシミュレーションを実施)

○各班からの報告 →別紙資料(第21回市民会議・各班模造紙)を参照

今井:各班から、特に「③各班の独自の工夫」を中心に話し合ったことを報告していただきたい。
PI活動の進め方として、全体で統一した方がいいことと、各班の裁量に任せることがあると思う。

【1班】

- ・説明の45分とか60分、ずっと聞いているのではなく、途中でキャッチボールを入れながら、眠気覚ましと緊張感を解きほぐすという意味も含め、3~5分くらいの意見交換を何回か設けたい。
- ・他には、役割分担、日程について話し合い、スケジュール表もつくった。

【2班】

- ・説明を40分以内とし、その後、ワークショップ形式でいくつかのテーマについて話し合ってもらおう。ポストイットなどに意見を書いてもらう。

【3班】

- ・資料については、パワーポイントは市民・議会・市の役割分担は表の形の方が良い。
- ・説明の前に旗上げアンケートをやって、参加者の関心・興味をひきたい。
- ・おおまかなPIの日程は、豊田公民館が7/7でほぼ決定。大村公民館は7/6を予定。和田公民館は7/28を予定。今、交渉に行っているところ。

【4班】

- ・説明は簡素化できるところは「資料をご覧ください」と簡単にし、市民会議で意見が分かれたところや、特に意見が欲しいところを重点的に説明したい。「基本的な考え方」、「市政運営」、「自治の仕組み」、「地震・津波に対する安全の備え」など。
- ・司会をする人は、質問が出やすいような投げかけを用意したり、旗上げアンケートで問いかけるなどの工夫をしたい。

事務局:6月の市民会議をやるかどうかについては、やるなら6/19(水)か21(金)の夜に設定したい。その前にPI活動推進会議を行い、今日のまとめをしたい。なお、資料と最低限の説明内容は統一することとしたい。事務局で資料案を作成し、PI推進会議で検討することとしたい。

今井:意見交換のやり方については、全体での意見交換や旗上げアンケート、ワークショップ方式など、各班の裁量に任せてよいということではどうか。相手のあることなので、どれが有効化は一概に言えないところもあり、班により違う方法を使うのも意味はあると思う。

事務局:次回は6/19(水)の夜に開催し、PIの本番に臨むような方向としたい。各地域との日程調整を早めにやっていただけるとありがたい。

6. おわりに

事務局:(閉会)